

# 大学受験合格実績

今年度(後日速報します!)

## 国公立大学 合格年(2012~2021年度)

阪大 2012

京大 2013

奈良女子大 2014

京大 2015

京都府立医科大 2016

京大・阪大 2017

阪大 2018

広島大 2019

京都工繊大 2020

神大・京都教育大 2021

## 私立大学(2021年度)

### 一般入試

- 関西学院大学 生命環境学部 生命医科学科
- 京都薬科大学 薬学部 薬学科
- 立命館大学 全学統一方式 生命科学部 応用化学科
- 関西学院大学 生命環境学部 生命医科学
- 立命館大学 学部個別配点方式 生命科学部 応用化学科
- 同志社大学 学部個別日程 理工学部 化学システム創生工学科
- 関西大学 化学生命工学科 化学・物質工学科
- 京都産業大学 生命科学部 先端生命科学科

## 推薦・内部進学

- ICU (指定校推薦)
- 立命館大学 (内部進学)

## 共通テスト 今年度

英語 リーディング / リスニング

(各100点満点)上位5名の結果

95/97

77/86

97/94

84/95

100/100

## 受講者の声

英語の勉強の仕方について思うこと  
洛南高等学校 高3 塾歴5年

私が英語を勉強する中で痛感したのは、言葉は人から人へと受け継がれるものだということだ。

なんの言葉も話せない赤ん坊が、まわりの人間の発する特定の音と特定の概念との結びつきを知らないうちに見出し、自らことばを操るようになる。

つまり、ことばは人々の間に初めから存在しているのであって、単語の意味や文法は本来その膨大な量のサンプルの中から自ら抽出すべきものなのではないだろうか。

これを逆にして、単語や文法を先に覚えようとするのは不自然であるし、実際、自分はやりにくい。もちろん、日本に暮らしている以上、ことばのサンプルは量、質ともに絶対的に不足している。これを補うために単語や文法を勉強することは重大だと思っている。

しかし、その際、できる限り生きた「例文」に触れることを意識するべきだろう。そしてまた、英語は「読む」前に「聞く」ことが大切だと思う。文字より先に音があるからだ。音を伴わない文字はただの記号になってしまう。

BBAでは、暗唱の課題が多く、初めの頃は苦痛に感じていた。だが次第に、暗唱は自然な文章を取り込み音にして出す、理にかなった勉強法だということに気づいた。授業中に英語を聞き、口に出す機会が多いことも効果的だと感じる。英語を身に付けるのに、適した塾だと思う。